

24年度は「環境都市」を目指して2年目 家庭の太陽光発電システム導入に補助など環境施策を充実させます

平成23年度末に、「泉大津市第2次環境基本計画」を策定しました。また、同計画の策定後、平成24年度中に、市域からの二酸化炭素排出量を、平成2年度と比較して平成32年度に25%削減することを目指し、取組みを定めた「泉大津市地球温暖化対策地域推進計画」の策定を図り、太陽光などの再生可能エネルギーの積極的導入や、市民、事業者による環境配慮活動への支援など、環境対策を先進的に進めてまいります。

また、本市では、一昨年の12月から家庭系ごみ収集の有料化を開始しましたが、市民の皆さまのご協力により、ごみの量は着実に減量され、有料化後の1年間の家庭から出る可燃ごみの量は、一般廃棄物処理計画の基準年である平成20年度と比較して、約27%減量できました。

この有料化による収入は、「泉大津市地域環境基金」に積

み立て、環境施策の充実のための財源として活用しています。平成24年度においては、JA いずみのさまと連携し、各家庭が太陽光発電システムを導入する際に、1.75%の低金利融資を行う本市独自の制度を創設するほか、太陽光発電システムや高効率給湯器など、市が指定する5種類以上の環境配慮設備を有する家屋を、「エコハウス」として認定し、奨励金を交付するなど環境施策の充実を図ります。



太陽光パネル

幼保一体化を推進します 乳幼児医療費助成の対象年齢は小1修了まで引き上げへ

現在、本市では、就学前における教育、保育については、幼稚園、保育所がそれぞれ担っていますが、教育と保育を一体的に提供し、保育所持機児童の解消にもつながる取組みとして、幼保一体化を推進します。その第一歩として、平成25年4月を目途に、楠幼稚園の空きスペースを活用し、低年齢児向け保育所の開設を図ります。

乳幼児医療助成は、子育て家庭の生活安定と福祉向上を図るため、対象年齢を2歳引き上げ、小学1年生修了までとします。

また、市役所1階にキッズスペースを設置し、子育て中の親子などが、市役所に訪れやすい環境整備に取り組みます。



子どもの豊かな心を育て 情操教育を推進します

本市では、平成22年度から「学校（園）力向上3か年プラン」を策定し、幼稚園から小中学校への一貫した教育の中で、道徳教育を基盤とした教育改革と授業研究に基づく学力の向上、家庭・地域との連携による開かれた学校づくりを目指しています。

また、生きる力を基盤とした情操教育を推進し、歴史・伝統・文化に関する理解を深め、尊重する心を育み、発信力や自己主張のできる力を育成するため、リズムダンス、中学生ミュージカル鑑賞や「少年の主張」大会などを実施し、子どもたちの「豊かな心」を養い育てることに努めます。

学校給食については、小学校で使っている食器をアルミ製から樹脂製に全校で更新し、また、中学校給食の導入については、効率化も考え実施に向け計画を策定してまいります。

について、医療法人などに民間病院の経営管理、効率化などの指導をお願いしてまいります。

また、昨年導入した全国で24台、大阪府内では2台しか設置していない256列の最新CTを活用して、新たに心臓ドックを開始し、同じく新たに導入した骨密度測定装置とともに検診・検査業務を充実してまいります。



最新機器を導入している市立病院

平成24年度泉大津市 施政方針

平成24年度における市長の市政運営に対する基本的な考え方や、主な事業についてお知らせします。



問合せ 企画調整課（市役所4階）

70周年という記念すべき年を契機に さらに市民参加型の市政を目指して

【はつめこ】 将来の地震発生に備え 市をあげて取り組む防災対策

世界的に地震多発国である我が国において、地震は最も警戒すべき災害の一つです。しかし、いつ、どこで、どの規模で発生するかを予測することや、災害の被害を完全に防ぐことは、事実上不可能です。ただし、過去の災害対策、先人が残した教訓、最新の調査結果など関連情報を徹底して検証することにより、被害を最小限に食い止める対策を立てることは可能です。そして、その対策を立てる際の最優先は人命であります。

本市においても、近い将来、南海地震、東南海地震に加え東海地震を含めた3連動の海溝型地震の発生が高い確率で危惧され、同時に津波に見舞われる可能性が高く、また、上町断層帯や中央構造線断層帯地震などの内陸地震の発生も危惧され、その対策が大変重要となります。本市では、津波発生時に一時避難場所となる堅固な高層建物を

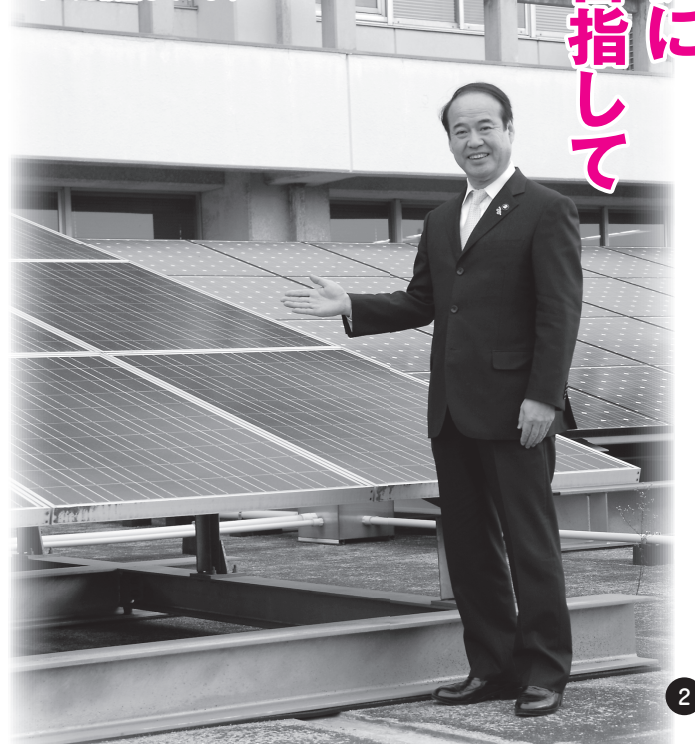
新たに指定し、市民の皆さまへの周知徹底を図るとともに、防災教育や津波避難など防災訓練の充実並びに消防団の強化に引き続き努めてまいります。加えて、現在、南海本線より西側のみに設置されている同報系無線を全市域に順次拡大し、災害時の迅速な避難誘導を可能とする準備をしてまいります。

市制70周年を 市民の皆さまとともに

戦時中の昭和17年4月1日に、3万3307人で市制を施行した本市は、本年、70周年の節目の年を迎えます。70周年を契機に未来への飛躍を期待し、本市の魅力内外に発信する周年事業を、市民の皆さまの参加を得て作り上げてまいります。

5月3日にはオープニング式典を開催し、さまざまな分野で市に功労のあった方々を表彰させていただきます。5月17日は、阪九フェリー株式会社のご協力のもと、「市町村広域災害ネットワーク相互応援に係る協定」を

「環境都市」を目指す本市。市役所庁舎には太陽光発電システムを設置しています



結ぶ自治体の中から、近畿圏内3市の小学生を招き、本市小学生とともに洋上で共同防災宣言を行い、子どもたちの防災意識の向上を図ります。

9月28日は、平成20年5月19日に「国際友好交流意向書」を交した韓国光陽市と友好都市提携の調印式を行うと同時に、同市と、すでに友好都市提携を結び20周年を迎えるオーストラリア・グレーターシドニー市の中学生に、本市中学生を加えた3者による英語での討論会を開催します。

さらに、9月30日には、地車関係者さまのご協力を得て、本市ならではの、上地車、下地車20台による合同パレードを計画しています。その他にも、公募によるマスコットキャラクターの制作や交響曲第九コンサートなど、市民の皆さまに参加、企画していただけるさまざまな記念事業を実施してまいります。

このようなイベントを通じて、市民の皆さまにご参加いただき、70周年を契機として、さらに市民参加型の市政の推進に努めてまいります。

財政健全化に向け 病院収支の改善に努めます

<さらなる行政改革は重要課題>

本市の財政状況は依然厳しく、市長に就任以来、常に財政健全化に向け、さまざまな行政改革を実施してまいりました。なかでも経費削減効果という点では、職員数の削減と泉北環境整備施設組合への負担金の減額が大きな成果を生んでいます。

この他にも、さまざまな経費削減や歳入確保に努めてきました。しかし、未だ連結決算では厳しい状況が続いています。その主な要因は、市立病院の収支の悪さです。収支の改善は、本市の財政健全化に向けた最重要課題であると強く認識しています。このため、昨年12月に設置した「市立病院経営形態検討委員会」での議論を早急にまとめ、経営形態について基本的な方向をお示しし、また、経営企画

泉大津市 市制 70 周年

記念イベント

市内だんじり 大集合！ スペシャル だんじりパレード

市制 70 周年を祝して、市内
各町のだんじりが集結。にぎ
やかにパレードを行います。
(9月30日(日))

国際交流式典

国際間交流を進めるため、
海外友好都市などの中学
生が本市を訪れ、本市の
子どもたちと英語でス
ピーチや討論を行います。
(9月28日(金))

公園が 花壇と彫刻で いっぱい！

市民の皆さんから募集した彫刻
や陶芸作品を展示します。また、
皆さんで花壇づくりを行い、花
で公園をいっぱいにします。

市民提案事業

市内の団体が主体とな
って行う 70 周年記念
事業に対し助成を行い、
事業運営を応援します。

東雲公園に デザイナー庭園出現！

著名な作庭家である重森三玲氏
の作庭した文化財的価値のある
庭園を、世界的な庭園デザイ
ナーである福原成雄氏の指導の
もと、東雲公園に移築します。

「開運！なんでも 鑑定団 in 泉大津」 出張鑑定大会

テレビでおなじみ「開運！な
んでも鑑定団」が本市にやっ
て来ます！テレビを通じて本
市と 70 周年を PR します。
(8月5日(日))

70 周年記念 写真集の作成

過去と現在の市内における施
設、風景、生活、行事、人物、風俗、
自然など、さまざまな事象の写
真に解説を付した写真集を刊行
し、泉大津市 70 年の歴史を振
り返ります。

...and more !!

ほかにまだまだ
楽しいイベント企画中です！
詳しくは次ページ！

泉大津市は、平成 24 年 4 月 1 日に市制 70 周年を迎えます。
市民の皆さんをはじめ、本市に関わりのあるすべての
人々に住み慣れた地元の魅力を再認識していただくこと
を、より多くの人に泉大津の魅力を発見していただくこと
を目指し、さまざまな記念事業を行います。記念事業のい
くつかをご紹介します。ぜひ皆さんでご参加ください。
問合せ 企画調整課（市役所 4 階）

未来へ まっすぐ。



※「未来へまっすぐ 泉大津 70」は市
制 70 周年のキャッチフレーズです。

平成 24 年度泉大津市施政方針



市役所の組織機構をより効率的なものに再編します 産業振興を強化、市民との協働を推進



組織機構は、統廃合により全体をスリム化しますが、商工業振興機能の強化を図るため、商工業に関連する課を統合し、事務室を泉大津商工会議所会館内に移設します。また、商工会議所と共同で、仮称「泉大津プロモーション協会」を立ち上げ、産業界と行政が一体となって、本市の知名度の向上、地域の活性化を図ってまいります。市民との協働を推進するため、市民協働の新たな総合窓口を担う課を設置します。また、環境にやさしいまちづくりの実現に向け、環境分野における取組みを一体的に推進するため関連部署の統合を行います。



24 年度に実施する 主な事業

●南海本線連続立体交差事業

市街地活性化の大きな役割を果たす南海本線連続立体交差事業は、本年夏ごろに下り線の高架切換えを図り 8 か所の踏切をなくし、東西の交通が画期的に改善されます。都市計画街路・南海中央線北伸事業は、本年度中に用地買収を完了し本体工事に着手します。

●河原町市営住宅の建て替え整備

耐用年限が超過し、災害時の浸水被害が想定される河原町市営住宅は、安全・安心の地域拠点として、建替え整備を進めてまいります。

●虐待相談をワンストップで受ける新システム

社会問題化している、児童や高齢者などへの虐待に対しては、相談・通告をワンストップで受付ける新しいシステムにより、関係機関との連携をよりきめ細かく速やかにし、防止に努めます。

●楽しい体操などを通じ介護予防の重要性を啓発

保健・予防体制の充実では、平成 23 年度に引き続き公費助成の予防接種ワクチンの対象を拡大し、平成 24 年度は、70 歳以上の高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種費用の内、3,500 円を公費助成します。また、介護予防事業にも積極的に取り組み、子どもから高齢者まで楽しんで体を動かせる体操の普及と世代間交流に努め、介護予防の大切さを啓発するとともに実践します。

●障がい者の社会参加を引き続き推進

障がい者福祉では、精神障がい者小規模通所授産施設「ひまわりハウス」が、障がい者自立支援法に基づく新しいサービス体系の事業所へと移行するにあたり、地域活動支援センターとして事業展開を図れるように、その運営を支援す

るなど、障がい者の社会参加を引き続き推進します。

●繊維業界の情報発信力を高め、地場産業の振興を

地場産業の振興では、商工会議所と連携を深め情報収集力などを強化し、また、繊維業界からの情報発信力を高め、産業や市のイメージアップにもつなげたいと考えています。そのため、国内外の展示会への出展など業界の積極的な取組みに対し、支援を強化してまいります。

●さらに充実「文化の大雨」カルチャー・スコール

文化芸術の振興では、平成 22 年度から開始した、文化フォーラム「カルチャー・スコール」事業は、各方面から大変高い評価をいただいています。平成 24 年度は、70 周年記念として、韓国と日本の陶芸家や陶磁器研究者などによる「日韓国際フォーラム」や人気のある歴史フォーラムに、世界史の「世界の遺跡発掘物語シリーズ」を加えるなど、さらに充実した全 23 回を計画しています。

●大学とタッグを組み魅力的な公開講座をご用意

包括連携協定を締結しているプール学院大学と羽衣国際大学とは、連携事業として、平成 23 年度は両大学の教授陣による「いずみおおつ市民公開講座」を開催しました。平成 24 年度は、両大学での公開講座への市民参加を助成する制度を創設してまいります。

●水泳・その他のスポーツが行える総合的な施設整備を

スポーツ振興では、市民プールが、老朽化によりいつ使用不可能になるか心配であり、さらに、ほとんどの小学校のプールについても老朽化が進んでいる現状を踏まえ、プールその他のスポーツが行える総合的な施設整備に向けて、事業手法や財政面での検討を進めてまいります。

●春日墓地の旧火葬場跡地利用計画を早期に推進

市営火葬場「ゆうしお」の供用開始に伴う、春日墓地内旧火葬場等の跡地利用については、平成 23 年度に策定した跡地利用計画に基づき実施設計を行うとともに、墓地などの変更許可申請手続きを行い、早期に進めてまいります。

【結び】

以上が平成 24 年度の主要施策ですが、財政状況をはじめ本市を取り巻く環境は依然厳しいものがあります。国においても、借金の総額が 1000 兆円に迫り、増え続ける社会保障費、長期にわたる景気の低迷など、これらさまざまな課題を解決し日本を再生できるか、正に国家の正念場を迎えています。

私は、このようなときこそ、将来の泉大津市のために、今やるべきことを確実に実行することが大切であると考えています。ぶれない信念をもって、市民の皆さまの福祉の向上のため、全身全霊を尽くして取り組んでまいります。市民の皆さま並びに議員の皆さまにおかれましては、いっそうのご理解とご支援、ご協力をたまりますよう、心よりお願い申し上げます。私の施政方針といたします。

泉大津市長 神谷 昇

■ その他のシンボル事業（70 周年記念事業の象徴となるもの）

事業名	実施日(予定)	事業の内容
こどもネットワーク 大阪湾クルーズ	5月17日(木)	防災意識の醸成と郷土愛を育むことを目的に、広域災害ネットワーク相互応援協定を締結している近畿圏内3市（八幡市、大和郡山市、橋本市）の小学生を招待し、本市の生徒といっしょに洋上（大阪湾）にて防災宣言を行う。
マスコット キャラクター制作	発表：4月中旬	郷土愛の醸成やシティセールス(地域PR)を目的に、公募によりデザインを募集し、ご当地キャラクターを創設する。デザインは、市民参加による投票で決定する。完成したマスコットキャラクターは、記念事業や他市で行われる各種イベントにも参加するなど、本市のPRに活用する。
「ベートーヴェン交響曲 第九番」合唱付コンサート	6月3日(日)	人と人とが世代を超えてふれあい、ともに70周年を祝うため、市民を中心に合唱団を結成し、ベートーヴェンの第九コンサートを行う。(市民会館大ホール)
「ふれあい」「交流」 まつり	11月4日(日)	手作りのイベントや屋台などでふれあいを深める「ふれあい」「交流」まつりを開催するとともに、火災予防啓発のための消防フェスタや、春日墓地の外壁に壁画を描くイベントを行う。(市民会館小ホールなど)
健診・介護予防体操 など 「健康づくり」	7月～12月	市民の健康管理意識の向上や健康づくりを推進するため、健康づくり週間を定め、特定健診・がん検診、健康相談会、出前講座、介護予防体操の紹介などを実施する。また、妊婦を対象に歯科健診の実施や、出産育児に関する相談体制の充実を図る。
織編（おりあむ） エッセイ賞	募集：6月～8月 表彰：H25年3月	毛布・ニットなどの特産品をモチーフに、繊維製品との関わりや思い出を織り込んだエッセイを募集し、優秀な作品を表彰する。
吉本興業協力！ プロモーション公演	未定	市制70周年記念事業のイベント全体を啓発するために、泉大津市名誉大使のオール阪神氏や吉本興業(株)の協力のもと、舞台や公開放送などを開催する。(市民会館大ホールなど)

■ 市民提案事業（市民の企画・提案により実施するもの）

事業名	実施日(予定)	事業の内容
市制70周年記念コンサート	5月20日(日)	本市内のすべての大人や子どもたちが楽しめるような演奏会を行う。
第15回わんぱく相撲泉大津場所大会	5月20日(日)	例年行われている「わんぱく相撲」を「市制70周年記念大会」と位置づけ、小学校1～6年生を対象に周年事業にふさわしい相撲大会を行う。
70mのそうめん流し	5月27日(日)	「浜街道まつり」時に市制70周年にちなんで、70メートルのそうめん流しを開催し、まつり全体を盛り上げる。
アートのあるいずみおおつをつくろう！ (仮称)	11月4日(日)	みどりと光あふれるまちとして魅力を向上させるため、アルザ通りのケヤキにイルミネーションの飾りつけを行う。

■ 冠事業（既存事業のうち、記念行事としてふさわしいもの）

事業名	実施日(予定)	事業の内容
カルチャー・スコール	4月～ H25年3月	3年目を迎える今年度は市制施行70周年記念事業としてふさわしい全23回の講演会を企画し、市内外からの参加により、輝かしい歴史をもつ泉大津のさらなる発展と、暮らしに文化芸術が息づく、魅力あふれるまちづくりを目指す。(テクスピア大阪など)
全国金魚すくい 選手権大会 泉州予選大会	5月6日(日)	「特産品コラボ事業（特産品を相互にPRするもの）」の一環として、大和郡山市で開催される「第18回全国金魚すくい選手権大会」の認定予選大会を開催する。(市民会館小ホール)
泉大津フェスタ2012 (Eポート交流大会の部)	7月16日(祝)	「泉大津フェスタ」の一部として行う「Eポート交流大会の部」は、市民が海に親しむイベントとして毎年海の日を記念して行う。(Eポートとは、子どもから大人までだれでも簡単に操作できるゴムポートです。)(なぎさ町きららタウン前海域)
泉大津フェスタ2012 (羊のゆめフェスタの部)	未定	「泉大津フェスタ」の一部として「羊のゆめフェスタの部」を開催し、花火大会をメインとするイベントを行う。
市民音楽祭	8月、H25年 2月ごろ	本市の芸術文化の向上のため、市内で活躍する音楽団体により音楽祭を二部門に分けて開催する。(テクスピアホール、市民会館大ホール)
文化祭	10月～11月	市展や学童展をはじめ、本市内で活動する各種文化団体による発表会などを本市主催で行う。(市民会館など)
貫頭衣 デザインコンテスト	11月18日(日)	農業まつり（JAいずみの主催）の中で、米づくりを始めた弥生時代の人々が着ていたとされる「貫頭衣」（ポンチョのような衣服）のデザインコンテストを実施する。(池上曽根史跡公園)
人権問題を考える 市民の集い	12月8日(土)	市民を対象として、人権をテーマとした講演会または人権トークを織り交ぜたコンサートなどを実施する。(市民会館小ホール)
クリスマス ジャズコンサート	12月16日(日)	恒例の市民会館クリスマスジャズコンサートにおいてゲストプレイヤーを招き、ジョイントコンサートを実施し、市民と市制施行70周年を祝う。(市民会館大ホール)


※日程などについては都合により変更となる場合があります

53THU.

皆さんぜひおそろいでお越しください！

市制施行70周年 オープニング式典

70th Anniversary Opening Ceremony



式典当日は、70年の本市のあゆみを懐かしい写真でふりかえる写真展や、日本舞踊の公演など、楽しめる催しをご用意しています（写真はイメージです）

本市市制施行70周年を記念して、オープニング式典を行います。

式典では、公共福祉の増進と市勢発展に貢献された3人に、泉大津市名誉市民条例に基づき「泉大津市名誉市民」の称号を贈ります。また、特別功労者表彰および泉大津市文化協会による日本舞踊などの公演、写真展も行います。

市民の皆さんとともに、本式典を挙行したいと思えます。ぜひ会場へお越しください。

日時 5月3日(祝) 午前10時～
場所 市民会館大ホール

内容 ▷泉大津市名誉市民顕彰式ならびに特別功労者表彰式（あいさつ：泉大津市名誉大使 オール阪神さん アシスタント：泉大津市お祭り大使 五十嵐サキさん）▷市制70周年「祝賀の集い」（泉大津市文化協会）▷写真展（写真でみる泉大津の70年）ほか

名誉市民
▷吉田重義氏（82歳 板原町在住）
▷坂口義幸氏（85歳 千原町在住）
▷高山智正氏（82歳 西港町在住）
問合 秘書広報課（市役所4階）

511FRI.

NHK ラジオ

「歌の散歩道」

市民会館での公開収録 観覧者募集！



川中美幸さん 坂本冬美さん ペギー葉山さん

NHKラジオ「歌の散歩道」の公開収録を実施します。収録では、3人のゲスト歌手それぞれによる歌とおしゃべりの歌謡ライブをお楽しみいただきます。

公開収録の詳細
日時 5月11日(金) 開場：午後5時 開演：午後5時40分 終演予定：午後7時40分
会場 市民会館大ホール
出演予定 川中美幸、坂本冬美、ペギー葉山（50音順）
申込 郵便往復はがき（私製を除く）の往信おもて面に〒595-0067 小松町1-60 泉大津市民会館「歌の散歩道」係、裏面にご自分の郵便番号、住所、名前（ふりがな）、電話番号を、また、返信おもて面にご自分の郵便番号、住所と名前を書いてお出しください。返信の裏面には抽選結果を印刷しますので、白紙のままお送りください。
締切 4月18日(火)必着
※応募多数の場合は抽選のうえ、入場整理券（1枚で2人

入場可）をお送りします。
※記入に不備があった場合や、郵便往復はがき以外での応募は無効となります。
※紙・シールなどの貼り付け、修正液の使用もご遠慮ください。
※ご応募いただいた情報は、抽選結果のご連絡のほか、受信料のお願いに使用させていただくことがあります。
放送予定 5月21日(月)、22日(火)、23日(水)の3日間 いずれも午後2時5分～午後2時35分 ラジオ第1・国際にて
問合 ▷市民会館（☎21・7050 午前9時～午後5時 月曜休館）▷NHK大阪放送局（☎06・6941・0431 月～金曜 午前10時～午後6時）

2/24 巨大古墳からみた大和王権

シンポジウム

●2月24日(日) 午後1時～4時30分

▷コーディネーター：白石太一郎氏（大阪府立近つ飛鳥博物館長）▷パネリスト：一瀬和夫氏（京都橋大学教授）、岸本直文氏（大阪市立大学准教授）、今尾文昭氏（奈良県立橿原考古学研究所附属博物館学芸課長）

3世紀から6世紀の大王たちは、その墳墓として巨大な前方後円墳を奈良盆地と大阪平野に営みました。それらは文献史料だけではわからないヤマト王権の実像を解く、ほとんど唯一の資料です。第一線の研究者が白熱の議論を戦わせ、古代王権の実像に迫ります。（於：テクスピア大阪）

3/10 ジャーナリストが語る考古学から 池上曾根遺跡 纏向遺跡まで

フォーラム

●3月10日(日) 午後1時～4時30分

コーディネーター：金関恕氏（前大阪府立弥生文化博物館長）、パネリスト：考古学担当の報道記者

1995年、国の史跡池上曾根遺跡の一角から大型建物跡と巨大なくり抜き井戸が出土。その後も各地で重要な発見が相次ぎ、考古学の進歩は著しい。思い出に残る取材、注目される遺跡を話し合います。（於：テクスピア大阪）

3/24 日本人の心をとらえた中国、朝鮮の陶磁 ～伝統と創造

国際フォーラム

●3月24日(日) 午前10時30分～午後5時

▷特別講演…14代今泉今右衛門氏（鍋島焼）、12代三輪休雪氏（萩焼）、14代酒井田柿右衛門氏（人間国宝・有田焼）▷基調講演…姜敬淑氏（韓国・中原文化財研究院長）、河原正彦氏（滋賀県立陶芸の森館長）▷討論…コーディネーター：出川哲朗氏（大阪市立東洋陶磁美術館長）、パネリスト：講演の各氏

千利休や武將はなぜ高麗茶碗に魅かれたのだろうか。韓国の研究者、日本の代表的な陶芸家がさまざまな焼き物の魅力を話し合います。POSCO-JOPC（ポスコ・ジェイオーピーシー）協賛。（於：テクスピア大阪）

9～10月 日本文化の底流

●9月29日(土)「日本人のこころ史～情・知・意のうつりゆき」 中西進氏（国文学者。堺市博物館長、元京都市立芸術大学長）

日本人は12世紀ごろまではウエットで心豊かな「情の文化」を重んじ、続いて19世紀ごろまでは学問や知識に価値を置き、「知の文化」というべきものを形成しました。現代は「意の文化」をつくろうと混迷を深めています。古代から現代まで、心の風景を探ります。（於：テクスピア大阪）

●10月14日(日)「無常観の力～困難を乗り越える」 山折哲雄氏（元国際日本文化研究センター所長）

無常観は辺境、湿潤のモンスーン列島、日本で育まれた生き抜くための知恵でした。3・11災害のときも、阪神淡路の大地震の場合と同じように、人々が困難な事態を静かに受け止め、我慢強く乗り越えていくためのエネルギーの源になりました。（於：テクスピア大阪）

●10月28日(日)「おしゃれな縄文人」 小山修三氏（国立民族学博物館名誉教授） 縄文人はヒスイのペンダント、南海の貝輪、赤いくしなどに代表されるようにたいへんおしゃれでした。最近、農業を始めていたことが明らかにされ、彼らは豊かな社会を営んでいました。女性に焦点をあて、現代社会と比較してその意味を探ります。（於：市民会館）

11～12月 文学の楽しみ

●11月10日(土)「戦国期の情報戦」 津本陽氏（作家）

戦国時代は現代の日本よりもはるかに情報戦が厳しい時代でした。織田信長、豊臣秀吉、徳川家康は集めた情報の数が敵よりも多かったので生きのびられました。生死の決断を常に強いられる彼らは、敵の内情をうかがい、その裏をかつて戦に勝っていったのです。情報の重要性が歴史から読み取れます。

●12月2日(日)「芭蕉と大阪」 嵐山光三郎氏（作家）

なぜ芭蕉は大阪で死んだのだろうか。体調を崩していた芭蕉が無理矢理大阪に出かけたのは、第一の弟子と可愛がっていた酒堂（しゅどう）と之堂（しどう）のけんかを仲裁するためでした。芭蕉終焉の地、大阪を舞台にくり広げられた芭蕉をめぐる人間模様。（於：テクスピア大阪）

1～2月 世界の遺跡を掘る 日本人パイオニアの挑戦

●1月20日(日)「ポンペイとソンマ・ヴェスヴィアーナ」 青柳正規氏（国立西洋美術館長、東京大学名誉教授）

南イタリアのヴェスヴィオ山はほぼ400年おきに大規模な噴火を繰り返し、中でも紀元79年の噴火では人口1万人強の都市ポンペイを埋没させたことは有名です。この都市遺跡と山を挟んで反対側にあるソンマ・ヴェスヴィアーナを東京大学の発掘チームが調査中。両者を比較しながら古代ローマ時代の人々の生活を復元してみよう。（於：テクスピア大阪）

●1月27日(日)「祇園精舎アンコール・ワット、その歴史と美術」 石澤良昭氏（前上智大学学長）

学生時代から51年にわたり、壮麗な建造物や仏像などに魅せられて調査研究。西日がさすと輝きを増すアンコール・ワットの回廊、仏像の豊かな表情など、遺跡には当時の人々の思い、高い文化が盛り込まれています。「カンボジア人の誇りである遺跡は国民自身の手で修復し守り伝えるべき」を信条としています。（於：テクスピア大阪）

●2月10日(日)「中国・良渚（りょうしよ）遺跡群」 中村慎一氏（金沢大学教授） 中国・長江流域の浙江省で見つかった約5,000年前の良渚遺跡群。東西1.6km、南北1.8kmの範囲が城壁と環濠で囲まれ、中国最初の国家と推測されています。年に数回、中国を訪れ、発掘調査している中国考古学の研究者が世界最古級の都市遺跡について最新の成果をお話します。（於：市民会館）

7月 匠の技 ～美と心のメッセージ

●7月1日(日)「和の文化を楽しむ御菓子」 山口富蔵氏（京菓子司「末富」3代目主人）

和菓子は非常に幅の広いものです。特に京菓子は、和の文化のエッセンスを味わい、季節を楽しむ食べ物。味と美しさに加え、「もてなしの心」を伝える役割も潜んでいます。京菓子の楽しみ方をいっしょに考えませんか。

●7月8日(日)「奈良時代の彩色～正倉院宝物・唐招提寺」 大山明彦氏（奈良教育大学准教授）

奈良の歴史的建造物や美術工芸品の彩色文様を注意深く観察し、かすかに残る色から、虹のスペクトルのような古代彩色を復元します。古色を帯びた寺院は当初の華やかでカラフルなイメージを取り戻します。

●7月22日(日)「仏像の修復と伝世」 矢野健一郎氏（仏師、仏像修復師） 聞き手：高橋隆博氏（関西大学教授・博物館長）

6世紀半ば日本に将来された仏教文化の遺産である仏像。その修復はどのように行われ、また後世に伝えてきたのだろうか。豊富な仏像修理を手がけてきた矢野氏と、高橋教授（日本史・文化遺産学）が対談形式で文化財修理の展望を探ります。（於：テクスピア大阪）

8～9月 歴史の散歩みち

●8月26日(日)「陰謀渦巻く平城京と長屋王の変～ゴミ捨て場から見つかったその実像」 田辺征夫氏（前奈良文化財研究所長、奈良県立大学特任教授）

華やかで国際色豊かな天平文化。一方、この時代は繰り返される権力闘争の時代でした。ゴミ捨て場から見つかった3万5,000点もの木簡が、藤原氏の陰謀によって滅ぼされた悲劇の宰相、長屋王の実像を浮かび上がらせます。平城京の光と影、そして発掘の意義を問います。

●9月2日(日)「平清盛～公家と武家のはざまで」 上横手雅敬氏（京都大学名誉教授）

平氏には公家的な側面と武家的な側面があります。武家政権の創始者を平清盛とみるか、それとも源頼朝とみるか。古くからあるこの議論を視野に入れ、広い立場から清盛論を展開します。

●9月9日(日)「平泉の三つの富と奥州藤原氏、十三湊（とさみなと）安藤氏」 斉藤利男氏（弘前大学教授）

世界遺産平泉、繁栄を支えた富は3つありました。奥州の金と馬。そして北海道産の鷲羽―平泉が交易を介して北海道を支配していたことを意味します。北方支配を継承し、日の本将軍とよばれた十三湊安藤氏とあわせて話します。

●9月16日(日)「主君・押込（おしこめ）、を考える」 笠谷和比古氏（国際日本文化研究センター教授）

江戸時代、政治を私物化したり、行跡の悪い藩主を家老らが合議して座敷牢などに閉じ込め、改めなかった場合、強制的に隠居させました。久留米藩（福岡県）有馬家や岡崎藩（愛知県）水野家の例などが知られ、武士道の公共精神の現れといえます。これは現代の社長解任劇にも、また政治の世界にもみられるところです。（於：テクスピア大阪）

カルチャー・スコール！

市制70周年記念 豪華ラインナップ！

3年目を迎える泉大津市文化フォーラム「カルチャー・スコール（文化の大雨）」は、今年市制70周年を記念する事業として、4月から毎月著名な文化人を招いて、質の高い講演会、シンポジウムなどを23回開きます。入場無料。ぜひご参加ください。本文に時間の明示がないものは、午後2時～3時30分です。開演1時間前から整理券を配付します。

問合せ 秘書広報課（市役所4階）

4～5月 日本 芸能 ～伝統との対話

●4月8日(日)「『連獅子』を舞う」 飛鳥峯王氏（日本舞踊飛鳥流宗家、日本舞踊アカデミー ASUKA 主宰）
●4月30日(祝) 一人語り劇場「王将」 木津川計氏（『上方芸能』発行人）※詳細は23ページ
●5月6日(日) からくり人形実演「世界に誇る江戸のハイテク芸術」 東野進氏（『夢からくり一座』理事長、日本からくり研究会理事長）

「現代の名工」に選ばれた「からくり」製作の第一人者。ペリーが幕府から土産にもらったと言い伝えのある、幻の最高傑作「文字書き人形」を米国で発見し、1年がかりで修復。ゼンマイ仕掛けで矢を射る「弓曳（ゆみひき）童子」とともに実演します。（於：テクスピア大阪）

5～6月 伝統文化に生きる

●5月13日(日)「和歌に詠まれた四季と年中行事」 冷泉貴実子氏（冷泉家第25代当主夫人）

冷泉家は平安時代から続く和歌の家。藤原俊成・定家・為家の血を引き、邸宅は現存する唯一の公家屋敷（重要文化財）。「和」の文化は四季の型的美を基本とし、その源は古今和歌集、新古今和歌集に詠まれた和歌にある。代表的な和歌から、伝統的な四季の美と年中行事の基となった物語をみてみよう。

●6月24日(日)「日本人の忘れもの～『床の間』と目線」 千宗守氏（武者小路千家第14代家元）

千利休を祖に持つ三千家の一つ。日常生活空間から我が国の伝統様式が忘れられてしまっている。最も具体的なものは「床の間」です。戦後しばらくの間、多くの家は和風様式であり、特に客間といわれる部屋には「床の間」が備わっていたものです。日本人が忘れつつある価値観をそこに見ることができます。（於：テクスピア大阪）